

## 令和 5 年度（2023 年度）環境省・林野庁・北海道事業の報告・予定

No	実施者	事業	概要
1	環境省	知床半島エゾシカ管理計画に基づく管理	・知床岬地区、幌別－岩尾別間、及びルサー相泊間にてエゾシカの個体数調整を実施しています。
2	環境省	知床半島ヒグマ管理計画に基づく管理	・ヒグマ出没状況の把握や出没に関する情報提供・利用者に対する普及啓発活動を実施しています。 ・昨年に引き続き関係機関と合同で「知床ディスタンスキャンペーン」を実施しました。(10/7～10/9)
3	環境省	長期モニタリング計画等に基づく調査の実施	・長期モニタリング計画等に基づき、各種調査を実施しています。 ・エゾシカ対策に係る植生調査、航空カウント調査 ・植生調査区での気象観測調査 ・海鳥の生息状況調査、海水温調査 など
4	環境省	登山道の維持管理	・羅臼岳・硫黄山・知床連山の登山道のササ刈り・枝払い、ガイドロープ・迷い込み防止ロープの設置、土嚢設置、携帯トイレブースの管理等を実施しました。 ・関係機関と合同で、近自然工法による登山道整備を実施しました。
5	環境省	各種情報の発信	・2022年版の年次報告書（知床白書）を作成し、公開しました。 ・ウェブサイト「知床データセンター」の運営、自然再生メールの運営を実施しています。
6	環境省	委員会等の開催	・知床世界自然遺産地域科学委員会、及びエゾシカ、ヒグマ、適正利用エコツーリズムの各ワーキンググループを開催しています。
7	林野庁	羅臼岳・硫黄山登山道の維持管理	・羅臼岳・硫黄山の登山道のササ刈り、ガイドロープ・迷い込み防止ロープの設置等を実施しています。
8	林野庁	長期モニタリング事業	・知床ルシャ川・テッパンベツ川の2河川において、サケ類の遡上数及び産卵床数の状況把握等を行う調査を実施しています。 ・遺産地域及び遺産隣接地域の42河川で水温調査を実施するとともに、うち8河川でオショロコマの生息数等の調査及び16河川で環境DNA解析による生物量調査を実施しています。
9	林野庁	エゾシカ対策業務	・遺産地域及び遺産隣接地域の20箇所において、エゾシカの採食状況及び土壌流出状況の調査を実施しています。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個体数調整として、ウトロ地区及び羅臼地区において、くくりわなによる捕獲を実施します。</li> </ul>
10	林野庁	知床ヒグマ管理計画に基づく調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマの餌となるミズナラの結実調査をシードトラップ法により実施しています。</li> </ul>
11	林野庁	希少野生動植物保護管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護管理員を配置して巡視を行うことにより、シマフクロウの保護及び環境の保全等を図ります。</li> </ul>
12	北海道	サケ科魚類モニタリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルサ川におけるサケ科魚類の遡上数・産卵床数調査を実施しています。</li> </ul>
13	北海道	羅臼岳登山における携帯トイレ利用促進啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯トイレの販売場所やトイレブース、回収場所を記載したリーフレットを作成し、遺産関係施設、交通機関、観光関連施設に設置を依頼し、周知します。</li> </ul>
14	北海道	五湖・カムイワッカ方面渋滞対策の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床五湖やカムイワッカ湯の滝方面の渋滞対策を目的に五湖利用者に臨時便バスの利用を促すため、ポストカードを作成の上、関連施設等へ配布し周知しました。</li> </ul>
15	北海道	知床半島ヒグマ管理計画に基づく啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にインバウンドを対象としたヒグマへのマナー啓発ステッカーを作成・配付(知床ディスタンスキャンペーン)するとともに看板も設置し、利用者に対する普及啓発活動を実施しました。</li> </ul>
16	北海道	知床峠園地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床峠園地の公衆トイレについて、外壁の貼り替え、洋式化及び多目的トイレの追加など改築を実施しました。</li> </ul>
17	北海道	「知床の日」の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と協力し知床の日を中心として、講演会、パネル展等の啓発活動を行い、知床の普遍的価値に対する道民等の理解の増進を図ります。</li> </ul>